



毎日子どもたちが食べている給食です

学校給食共同調理場が地元住民を招いて施設見学会を行いました



1月30日、学校給食共同調理場（以下共同調理場）の施設見学会が行われました。

現在共同調理場では、地元産の野菜を積極的に使うなど、「安全・安心な給食」の普及とPRに努め、日々工夫を重ねています。

今回、実際に給食が作られている環境や設備について広く知ってもらおうと「全国学校給食週間（1月24～30日）」に合わせて見学会を開催、初めての試みということで、地元青部地区のみなさんを招きました。

午前10時から始まった見学会では、中澤所長から建物や設備についての説明がされ、その後、実際に給食を

作っている工程などを見学しました。

芹澤栄養士の説明を聞きながら、最新鋭の設備で給食が作られていく光景を目の当たりにした参加者たちは、徹底した衛生管理に感心している様子でした。

そして、午前11時30分から始まった給食の試食会では、当日子どもたちが食べているメニューと同じ給食が参加者の前に並びました。試食した参加者からは「味付けが良い」「安心して食べられる」「良く工夫されていておいしい」などの声が聞かれ、会話も弾む試食会となりました。

会の最後にはアンケート用紙が配られ、真剣に書き込む参加者の表情からは、学校給食についての関心の高さがうかがえました。

共同調理場では、今回の見学会を足がかりとして、来年度はさらに充実した催しに発展させたいと意気込んでいます。

最後に所長の中澤さんは、「アンケートに寄せられた感想は職員一同の励みになります。今後とも皆様のご理解とご協力をいただきながら、安心・安全な給食づくりに努めていきたい」と話してくれました。

実際には入れませんが、衛生上、実際に給食を作っている工程を見学しました。*衛生上、



施設・設備の説明を聞く参加者たち。質問も多く飛び交いました。



これからも、町民のみなさんと共に歩む「広報紙」を目指します

◆静岡県広報コンクールにおいて「広報かわねほんちょう」が最優秀賞を受賞しました。

静岡県広報協会主催の平成18年度（第50回）静岡県広報コンクール審査会が1月11日県庁で行われ、「広報かわねほんちょう」が広報紙（町の部）において最優秀賞を受賞しました。

（昭和33年に始まったこの広報コンクールで、当町（旧町時代も含め）では初めての受賞となります） また、1枚写真の部門でも優秀賞を受賞しました。

このコンクールは、平成18年中に発行された県内市町・団体の広報媒体を対象として、企画・アイデア・レイアウト・文章などを総合的に評価するもので、各市町から出品された作品99点の中から33点の入賞作品が選ばれました。今回最優秀賞を受賞した当町の広報紙は他の部門の広報紙とともに、今年度の全国広報コンクール（日本広報協会主催）へ出品されます。

広報紙編集にあたり、写真撮影や取材にご協力いただいたみなさん、原稿や投稿をお寄せくださったみなさん、本当にありがとうございました。

今後も、川根本町らしい個性あふれる広報紙を目指して努力していきます。

表彰式は6月、県広報協会50周年記念式典において行われる予定です。



最優秀賞を受賞した「平成18年12月号」審査では「住民と行政が直接触れ合っている様子が伝わり好感が持てた」という講評をいただきました。